

## 中学校部会

### 1 開催状況の概要

- (1) 日 時 令和3年11月8日(月)午前10時から午前11時30分まで
- (2) 方 法 Web会議システムによるリモート開催
- (3) 出席者 中学校部会員11名(全員出席)

### 2 重点目標

「主体的・対話的で深い学び」につながるタブレットを活用した授業改善  
～「どんどん」「みんなで」タブレットを活用して「わかる・できる授業」の実践～

### 3 重点目標達成に向けた現在の状況

#### (1) 基本的な操作等

##### (ア)アプリケーション操作

アプリケーション活用スキルはおおむね習得できている。

生徒が試行錯誤することにより操作方法に慣れる必要がある。

各教科で、MetaMoJiClassRoom等のアプリケーションについて、生徒が試したり教え合ったりする機会を作り、操作に慣れる時間を確保する。

##### (イ)カメラ機能活用

基本的なカメラ機能の操作はできている。写真や動画を使う機会は多い。

最適なファイル形式やファイルサイズを選択して記録するまでは至っていない。

目的に応じた写真や動画等の編集・記録の方法を指導し、身に付けさせる。

##### (ウ)文字入力

簡単な文字入力のスキルは習得できている。

自ら吟味した言葉で分かりやすく入力するという部分に課題がある。

教科等の課題を解決する中で、まとめや感想などをタイピングする機会を増やす。

#### (2) 問題解決・探究における情報活用

##### (ア)分類整理・まとめる力

課題解決に向けて考えたことを論理的に表現するスキルの習得は十分に身に付いていない。

教科等における「探究的な学習」の場面を増やす。

##### (イ)プレゼンテーション力

ICTを使った発表の場面は増えている。

ユニバーサルデザインや聞き手に配慮したプレゼンテーション力の向上が必要である。

全ての教科で発表する場面を増やして、分かりやすいプレゼンテーションが作成できるように指導していく。

#### (ウ)情報収集力

教科等の特性に応じた情報の検索・収集はできている。

効率的な検索方法や、目的に応じた情報収集が十分にできていない。

調べ学習などの際に、効率的な検索方法・目的に応じた情報収集ができているかを確認し、適切に見直す機会を設ける。

#### (エ)コミュニケーション力

ICTを利用した様々な場面での協働作業は少しずつ広まっている。

教科等での活用頻度が低い。活用方法が限定されている。

英語や、総合・人権学習などで、校内外でのオンラインでのやりとりを行うなど、一緒に協働で作業する機会を設ける。

### (3) 情報モラル・情報セキュリティ

#### (ア)情報社会の倫理

ネットワーク上におけるルール等の重要性には一定の理解がある。

ネットワーク上での責任について、さらに強い自覚が必要である。

ネットワーク上での行動に伴う責任を自覚させるため、人権教育主事・生徒指導主事等とも連携しながら、組織的に情報モラル教育を進める。

#### (イ)情報に関する権利

自他の権利を大切にしたいICT活用は少しずつ進んでいる。

著作権や知的財産権などの権利について、中学校の発達段階に応じた学びを深めなければならない。

著作権や知的財産権について、各教科等で資料等を扱う際に関連付けて、指導していく。

#### (ウ)危険回避

危険性を判断できる基礎的な知識・技術はある。

より実践的な力を付けていく必要がある。

日常で起こりうる身近な問題について、話し合う機会を設け、自ら危険を回避できる力を育てていく。

#### (エ)情報の取り扱い

情報の取り扱いについての配慮が十分ではなく、情報が社会にどのように影響を及ぼしているかを考え、適切に利用できている生徒は少ない。

新聞記事などの身近な事例を取り上げるなど、情報が社会に及ぼす影響について考える機会を適切に設ける。

#### (オ)健康面への配慮

健康を害する行動を自制することへの注意は促してはいるものの、画面を見る姿勢や時間等に注意する必要がある。

日常での様子や検診結果の推移などについて養護教諭との情報交換を密にし、生徒に向けて定期的に注意を促すことができるようにする。

#### (カ)情報セキュリティ

ＩＤやパスワードの管理などの日常でよく使う知識は身に付いている。

日常において、情報セキュリティを意識して適切に行動できる生徒は少ない。

これまでに学んできた知識が生かされるよう、端末活用の調べ学習等の場面で、機会のあるごとに指導していく。

#### 4 持ち帰りについての課題と今後の取組

- ・準備はしているものの、実施できていない学校がある。原因としては、情報モラル・情報セキュリティ上の不安や問題があげられる。
- ・市町村教育委員会，学校を通じて，家庭への理解を求める必要があり，保護者の不安解消とともに，家庭で活用することの利点を積極的に呼びかけていく。

#### 5 重点目標達成に向けた今後の取組

中学校部会では，重点目標の「どんどん」「みんな」使っていくというスタートのもと，タブレット活用の取組を進めている。

今年度作成された「ICTスキル習得体系表」に基づき，卒業までに中学校で求められるスキル習得を進めていくため，中学校全体の活用頻度を増やし，レベルアップを図る中で，教科等における学びの向上にもしっかりとつながれるように，今後一層の取組を推進していく必要がある。

また，小学校部会と連携し，スキルアップにつながるような好事例の情報提供や横展開を図るとともに市町村と連携をとって推進していきたい。

#### (今後の予定)

- 1月
  - ・積極的な職員研修の推奨（校内研修事例の作成依頼）
  - ・県教委事業研究指定校等の研究（公開）授業をGIGAスクールサポートサイトに公開する。  
内容：各教科学習での活用，校内での活用推進の様子
  - ・第2回中学校担当者意見交換会の開催  
GIGAスクールサポートサイトの積極的活用について周知
  - ・GIGAスクールサポート事業の実施による操作スキルと指導力の向上  
内容：MetaMoJiClassRoomの活用，各教科学習での活用等
  - ・徳島県PTA連合会家庭教育研修会にて保護者に徳島県GIGAスクール構想の趣旨や概要を周知
- 2月
  - ・中学校教育研究会理事会にてGIGAスクールサポートサイトの積極的活用について周知
  - ・徳島県「教育の情報化」推進フォーラムでの先進校の取組事例発表
- 3月
  - ・市町村教育委員会担当者との連絡会による連携の強化  
内容：環境整備・活用推進に向けた協議